

Joie™

適合基準 : ECE R44/04 G0+/G1

適応体重 : 2.5kg から 18kg まで

年齢の目安 : 新生児から 4 歳頃まで

Steady

ジョイ・チャイルドシート ステディ

取扱説明書 / 保証書



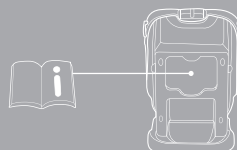
1609

必ずお読みください！！

本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです。

本製品は、最新の欧州基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本体背面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



取扱説明書ホルダー

もくじ

ユーザー登録のお願い	3	ー後ろ向き取り付け	25
チャイルドシートについて	3	・リクライニングの調節	25
自動車との適合について	3	・自動車座席への取り付け	26
使用に関するアドバイス	4	・お子さまの乗せかた	28
本製品の情報	4	肩ベルトの締めつけかた	29
表記の説明	5	・お子さまの降ろしかた	29
ー危険・警告・注意の表記について	5	・ソフトパッドの使用	30
ー強調・禁止の表記について	5	ー前向き取り付け	30
ーその他の表記について	5	・ソフトパッドの取り外し	30
ー本取扱説明書で使用するイラストについて	6	・リクライニングを立てる	31
使用できるお子さまの条件	6	・自動車座席への取り付け	31
取り付け、使用できない座席	7	・リクライニングを調節する	34
取り付けが可能な座席と不可能な座席	9	・お子さまの乗せかた	35
座席シートベルトの種類の確認	9	肩ベルトの締めつけかた	36
内容物の確認	10	・お子さまの降ろしかた	36
各部の名称	11	お手入れのしかた	37
ー本製品に関わる部位、部品の名称	11	ーシートのカバー類の取り外しかた	37
ー自動車に関わる部位、部品の名称	12	ーシートのカバー類のお手入れ	39
使用上の注意事項	12	ーシエル・ベース・ベルト類のお手入れ	40
緊急時の操作	19	ー受けバックル・差込タングのお手入れ	40
自動車の座席への影響について	19	保管のしかた	41
使いかた	20	廃棄のしかた	41
ーバックルの使いかた	20	保証書	44
・バックルの外しかた	20		
・バックルの留めかた	20		
ーヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節	20		
・後ろ向き取り付け時の適切な高さ	21		
・前向き取り付け時の適切な高さ	21		
ーソフトパッドの使いかた	22		
・取り付け / 取り外しかた	22		
・クッションの取り外しかた	23		
ー肩ベルトの長さ調節	24		
・肩ベルトを引き出す（ゆるめる）	24		
・肩ベルトを締め付ける	24		

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたしております。本製品は、日本国内で使用を認められている欧州のチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しております。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いいたしております。

お預かりしたお客様の個人情報、弊社が管理し、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

チャイルドシートについて

チャイルドシートは、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格に適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使

いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

自動車との適合について

本製品は、シートベルトの基準である ECE-R16、または同等の基準に適合した自動車の座席の 3 点式シートベルトによって自動車の座席に固定して使用します。

ただし、3 点式シートベルトが装備された座席、でも、シートベルトの種類、座席のサイズ、自動車バックルの形状、製造工場、製造時期等の条件によっては使用できない場合があります。

また、本製品は、すべての自動車、すべての座席で使用できるものではなく、車種や座席によっては取り付けができない場合があります。

本製品が取り付けられる自動車の座席に関しては、以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は適宜更新しております。

<http://www.katoji.co.jp/>

はじめにご確認ください

使用に関するアドバイス

お子さまのチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。

また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。

長距離を走る場合、最低でも 1 時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

本製品の情報

本製品は、チャイルドシートの基準、ECE-R44/04 に適合するユニバーサル仕様のチャイルドシートです。ユニバーサル仕様のチャイルドシートに対応したほとんどの自動車の座席に取り付けて使用できますが、すべての座席に取り付けて使用できるとは限りません。

自動車の取扱説明書において、適合年齢グループ用のユニバーサル仕様チャイルドシートを取り付けて使用可能と指示している場合、本製品が使用できる可能性があります。

本製品は、この警告が記載される以前の製品と比較して、より厳しい条件のもとで「ユニバーサル仕様チャイルドシート」として認定されたものです。

疑問がある場合には、チャイルドシートの製造業者または、取扱い販売店にお問い合わせください。

製品の種類 チャイルドシート

適応体重 体重 2.5kg から 18kg まで

製品グループ ユニバーサル Group 0+/1

主な原材料 樹脂・金属・繊維

パテント番号 特許出願中

表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しております。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

はじめにご確認ください

－危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
 危険	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

－強調・禁止の表記について

表記	表記の内容
	この表示に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

－その他の表記について

表記	表記の内容
 ポイント！	この表示に付随して記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また、本製品をより便利に使用していただくための大切な情報です。

一本取扱説明書で使用するイラストについて

本取扱説明書で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張等をおこなっており、実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

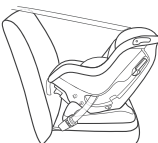
使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準によって定められています。

本製品は、ECE-R44/04（ヨーロッパ統一規則）のユニバーサル仕様、グループ0、グループIIに適合しており、体重 2.5kg から 18kg までのお子さまにご使用いただけます。

体重 2.5kg から体重 9kg 未満の間は、本製品を自動車の進行方向に対して後ろ向きに取り付け、かつソフトパッドを取り付けた状態でのみ使用できます。ソフトパッド（座部）を取り外せば、体重 18kg まで、後ろ向きに取り付けた状態で使用することができますが、体重 9kg からは、本製品を自動車の進行方向に対して前向きに取り付けて使用することもできます。

この、それぞれの範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

取り付けの向き	ソフトパッド	リクライニング	使用できる期間—お子さまの体重
 後ろ向き	 体重 9kg 未満は 使用すること	 青色のマーク	体重 2.5kg から 18kg まで 年齢の目安：新生児～4 歳頃 後ろ向き取り付けで、姿勢が窮屈になった場合は、前向きで取り付けて使用してください。 本製品は、後ろ向き取り付けで体重 18kg まで使用できます。
 前向き	 ソフトパッド（座部） 使用禁止	 赤色のマーク 3 か所のいずれか	体重 9kg から 18kg まで 年齢の目安：1 歳頃から 4 歳頃 ソフトパッド（座部）は取り外してください。 ソフトパッド（頭部）は、引き続き使用することができます。

ポイント！

後ろ向き、前向き取り付けにおいて、使用できる期間が重複する間（体重 9kg から 18kg まで）は、お子さまの体格に応じて、取り付けの向きを選択してください。

警告

危険ですので、体重 9kg 未満のお子様は、前向き取り付けで使用してはいけません。

本製品の適合する ECE 基準は、使用可能な期間をお子さまの体重によって規定しています。取り付けの向きは、必ず、使用できる期間の範囲に従ってください。目安となる年齢が使用可能な範囲であっても、体重が使用できる期間に満たない、またはこれを超える場合には、使用してはいけません。

取り付け、使用できない座席

本製品は、自動車の座席の3点式シートベルトによって固定して使用します。ただし、3点式シートベルトが装備された座席でも、条件によっては使用できない場合がありますのでご注意ください。

また、本製品は、全ての自動車、全ての座席で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、適合車種一覧を参照してください。

⚠ 危険

⚠ 危険

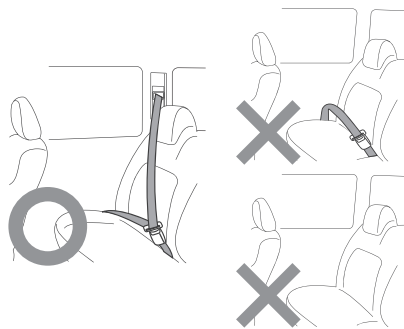
以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

3点式シートベルト以外の座席

本製品は、3点式シートベルトによる取付専用のチャイルドシートです。座席シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式シートベルト、5点式シートベルトでは使用できません。

必ず、3点式シートベルトの付いた座席で使用してください。

また、本製品は、ISO-FIX による取付方式には対応しておりません。



適合車種一覧で取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席

本製品の適合車種一覧で、取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席（適合車種でも、全ての座席で取り付け、使用可能とは限りません）では使用できません。

⚠ 危険

フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、エアバッグが展開する際の急激な衝撃によって、本製品が押し出され、お子さまが死亡または重傷に至る切迫した事態が生じますので、フロントエアバッグが装備された座席では絶対に使用しないでください。

万が一の事態に備え、フロントエアバッグの機能を解除できる座席でも使用しないでください。



助手席

助手席には、本製品を取り付けて使用しないでください。本製品は、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

パッシブシートベルトの装備された座席

ドアを閉めると自動的に座席シートベルトが装着される、パッシブシートベルトの座席では本製品を使用できません。

⚠ 危険

本製品を安定して設置できない座席

レーシング用のバケットシートなどの極端な凹凸がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席では、本製品が安定しないため取り付けることができません。

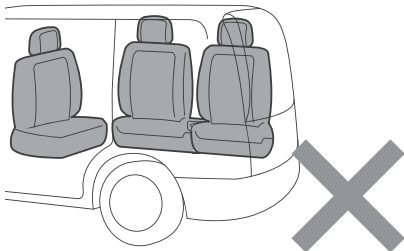
また、適合車種でも、限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、本製品が安定して設置できないこともあります。



進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ、取り付けて使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

また、車の進行方向に向かって前向きであっても、補助席などの特別な座席やバス、電車、飛行機、船などの座席では使用できません。



⚠ 危険

乗員の脱出に影響を与える座席

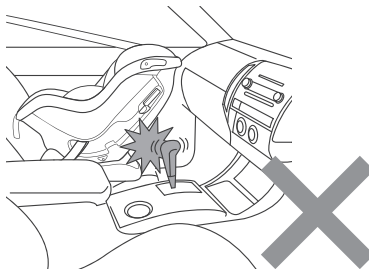
2ドア車の助手席や、片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。なお、本製品では助手席への取り付けは禁止しております。

実際に本製品を使用する前に、緊急時を想定して、取り付け固定、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から、他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。



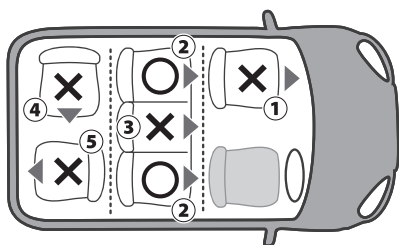
本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

本製品を取り付けることによって、ドアミラーが見えにくくなったり、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドルウインカーなどの操作に影響を与える座席、また、ドアの開閉や、可動式座席の動きに影響を与える座席には取り付けできません。



⚠ 危険**その他、しっかりと取り付けられない座席**

本製品は、中央座席ではご使用いただけません。また、座席の形状やサイズ、座席シートベルトの長さ、シートベルトバックルの高さや前後の位置、などが影響し、本取扱説明書にしたがっても、しっかりと固定できない、安定しない座席では、使用できません。

取り付けが可能な座席と不可能な座席**① 助手席**

取り付け、使用してはいけません。

② 2 列目以降、左右ドア側座席

取り付け可能です。

③ 2 列目以降、中央座席

取り付け、使用してはいけません。

④ 進行方向に向かって横向きの座席

取り付け、使用してはいけません。

⑤ 進行方向に向かって後ろ向きの座席

取り付け、使用してはいけません。

座席シートベルトの種類の確認

本製品は、ECE R16 に準拠した 3 点式シートベルトを装備した、進行方向に対して前向きの自動車の座席で使用するよう設計されております。

3 点式シートベルトでも、種類によっては、本製品が正しく取り付けられなかったり、適切に使用できない可能性があります。次の表の説明を参考にして、使用しようとする自動車の取扱説明書を確認するか、または自動車のメーカー、お買い求めになった自動車の販売店に問い合わせるなどして、装備されている 3 点式シートベルトの種類を確認してください。

⚠ 危険

シートベルトの種類が適合していても、P7「取り付け、使用できない座席」に適合する座席には本製品を取り付けてはいけません。取り付け、使用可能な車種については、適合車種一覧をご確認ください。適合車種一覧で、取り付け、使用不可、とされている車種、座席では、絶対に取り付け、使用しないでください。

シートベルトの種類	機能・特徴	取付	取り付けの注意点
ALR 自動ロック式 ベルト巻取り装置	シートベルトを引き出して途中で止めるとその位置で固定され、戻す方向にしか動かなくなる（それ以上引き出せなくなる）。最後まで戻しきると固定機能が解除される。	×	取り付けできません。
ELR 緊急ロック式 ベルト巻取り装置	ゆっくりとならばシートベルトを引き出すことができるが、強く引くと固定され、それ以上引き出せなくなる。	○	ゆっくりとシートベルトを引き出して本製品を取り付けてください。
NR	固定機能がなく、どの状態でもシートベルトの引き出し、戻しができる。	×	取り付けできません。
ELR/ALR チャイルドシート 固定機構付 ベルト巻取り装置	通常時は ELR として機能。シートベルトを最後まで引き出すと、ALR に切り替わり、シートベルトが最後まで引き戻ると、再び ELR に切り替わる。	○	ELR の状態で取り付けます。ALR に切り替わってしまった場合、シートベルトを最後まで引き戻し、ELR に切り替えてから取り付けてください。
その他 その他のシートベルト	パッシブシートベルト・2 点式・5 点式シートベルトなど。	×	取り付けできません。

ポイント！

中古車やディーラー限定モデルなど、特別仕様車の場合には、座席やシートベルトの種類が自動車の取扱説明書の内容と異なることがあります。確認できなかった場合には、自動車のメーカーや、自動車をお買い求めになったディーラーにお問い合わせください。

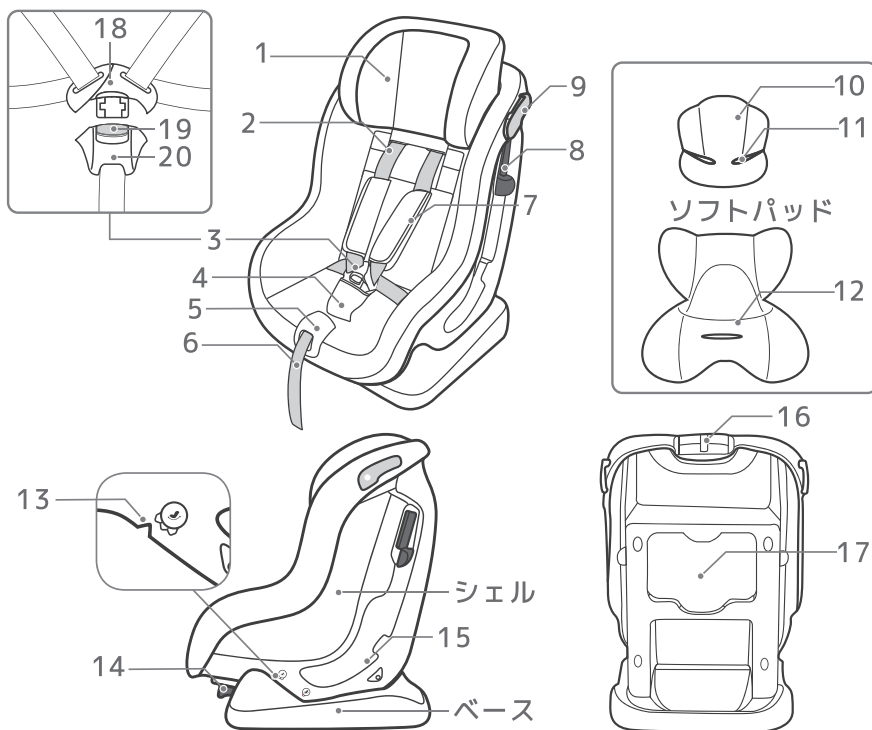
内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客サービスまでご連絡ください。

各部の名称

一本製品に関わる部位、部品の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いております。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。

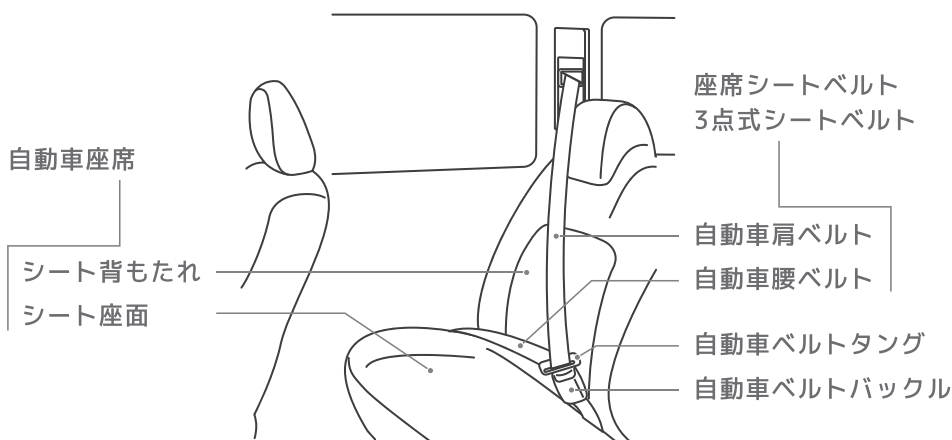


- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1：ヘッドレスト | 11：肩ベルトスロット |
| 2：肩ベルト（乳幼児ベルト） | 12：ソフトパッド（座部） |
| 3：バックル | 13：リクライニングインジケーター |
| 4：股ベルト（乳幼児ベルト） / 股ベルトパッド | 14：リクライニングハンドル |
| 5：ベルトアジャスター | 15：前向きベルトスロット |
| 6：アジャスターベルト | 16：ヘッドレストアジャストレバー |
| 7：肩ベルトパッド | 17：取扱説明書ホルダー |
| 8：ロックオフデバイス | 18：差込タング |
| 9：後ろ向きベルトスロット | 19：バックルボタン |
| 10：ソフトパッド（頭部） | 20：受けバックル |

はじめにご確認ください

一 自動車に関わる部位、部品の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。特に、シートベルトやバックルなど、自動車と本製品で同様名称の部位、部品がありますので、これらを区別するため、本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しております。

⚠ 危険

⚠ 危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

正しく自動車座席に固定して使用すること

本製品は、本取扱説明書および本製品本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車座席に固定し、使用してください。

正しく固定されていないと、事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 危険

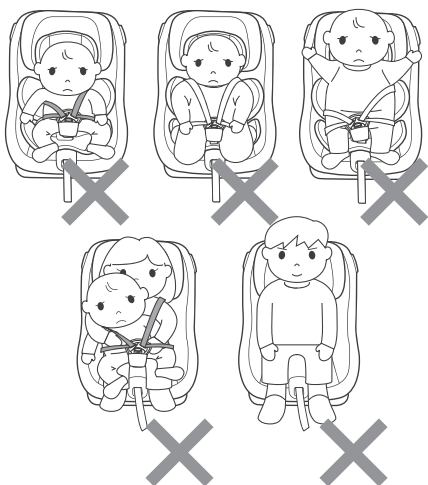
使用条件を厳守すること

本製品は、欧州のチャイルドシート基準のECE R44/04に適合するチャイルドシートです。この基準により、使用できる条件と本製品の取り付け、使用方法（後ろ向き取り付け、前向き取り付け）とそれに応じた使用可能なお子さまの体重の範囲、ソフトパッドの使用期間が、定められています。必ず、P6の「使用できるお子さまの条件」の指示に従ってご使用ください。

⚠ 危険

お子さまを正しく固定して使用すること

本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調整して、正しくお子さまを固定してください。規定された体重に適さないお子さまに使用したり、乳幼児ベルト、座席シートベルトを間違って使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



体型が合わない場合は使用しないこと

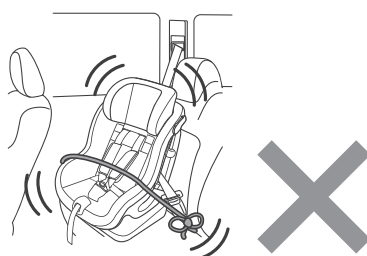
お子さまの体重が P6 の「使用できるお子さまの条件」の規定の範囲内でも、お子さまが成長し、本製品に正しくお子さまを乗せた際に、頭頂部が本製品から上にはみ出してしまう場合、お子さまの足が本体から極端にはみ出してしまうようになった場合、または本製品を調整してもお子さまを正しく固定できない場合には、所定の安全性能を発揮できませんので、本製品を使用しないでください。

⚠ 危険

指定する方法以外での取り付けをしないこと

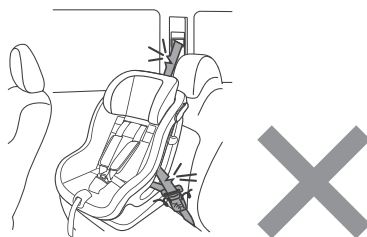
本製品は、適合する車種の自動車座席の 3 点式シートベルトで取り付けて使用します。ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなど、座席シートベルト以外のものでも本製品を固定してはいけません。

また、座席シートベルトで固定した上に、これらのもので補強してもいけません。座席シートベルトによって本製品が自動車座席に正しく固定されていたとしても、これらのものが、お子さまの首や身体に引っかかったり、座席シートベルトに干渉するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



損傷した座席シートベルトでの取り付け、使用をしないこと

損傷している座席シートベルト（自動車ベルトタング、自動車ベルトバックルを含む）で本製品を取り付け、使用してはいけません。交通事故や急制動の際に座席シートベルトが切断したり自動車バックルが外れたりして、本製品が座席から外れ、重大な事故につながるおそれがあります。



はじめにご確認ください

⚠ 危険

本取扱説明書および本製品に記載の指示に従うこと

本取扱説明書および製品本体に記載する方法以外での取り付け、使用はしないでください。

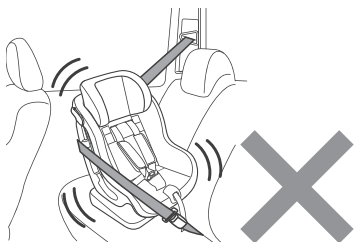
強い衝撃を受けた場合、損傷した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだ、など、一度でも強い衝撃を受けた場合は、使用してはいけません。目には見えない損傷によっても、本製品が安全に機能なくなっている可能性があります。



指定以外の向きで自動車座席に取り付け、使用をしないこと

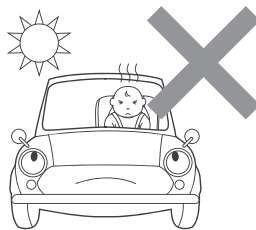
本製品は、自動車の進行方向に向かって前向きの自動車座席に、後ろ向き、または前向きに取り付けて使用します。横向き、など本取扱説明書において指示していない向きで自動車座席に取り付けてはいけません。



⚠ 危険

お子さまを車内に放置しないこと

本製品の使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でも、本製品から抜け出ようとして、乳幼児ベルトに絡まり窒息したり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



⚠ 警告

⚠ 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

走行前には本製品の状態を確認すること

お子さまや、他の乗員などが、本製品に触れたり、固定している自動車の座席シートベルトや他の部品に触れたりして、本製品の取り付けがゆるんでしまっている可能性がありますので、走行前には、毎回、本製品が正しく自動車の座席に取り付けられているかどうか、必ず確認してください。



警告

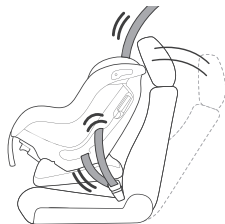
車内では本製品を必ず座席に固定しておくこと

お子さまが使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本製品を自動車の座席に固定してください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



本製品を取り付けた後に、自動車座席のリクライニング操作または自動車座席の前後の移動、調整をした場合には、本製品の取り付けの状態を確認すること

本製品を取り付けた後に、取り付けた自動車座席のリクライニング操作や座席の位置を前後に移動させる操作をすると、取り付けがゆるむ可能性があります。これらの操作をした後には、必ず、本製品の取り付けの状態を確認し、ゆるんでしまっていた場合には、本製品を取り付けなおしてください。

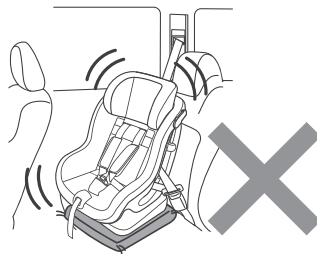


警告

本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

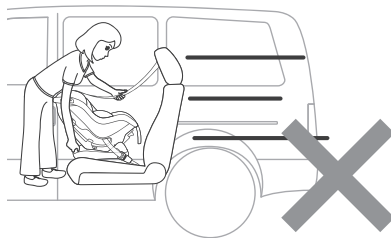
座布団やクッションなどの敷物を置いた自動車座席の上に本製品を取り付けてはいけません。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品を正しく取り付けの際に、自動車座席にくぼみや傷が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。



走行中は、本製品を操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、お子さまの固定状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



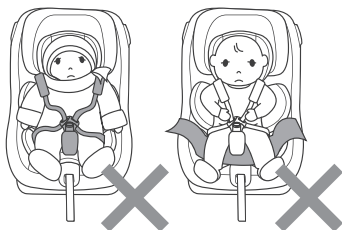
はじめにご確認ください

警告

不適切な着衣では使用しないこと

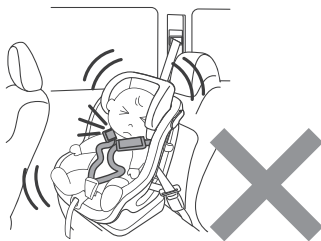
お子さまを正しく固定できず、お子さまが本製品から落下したり、飛び出したりするおそれがありますので、ケープ、毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、両足が出ない（股ベルトを両足で挟めない）構造の着衣、サイズの大きすぎる着衣で本製品を使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実に本製品に固定されるよう、乳幼児ベルト等を正しく調整してください。

また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下にしないください。



ベルト類がゆるんだ状態で使用しないこと

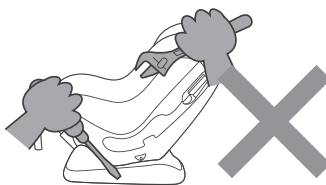
自動車座席シートベルト、乳幼児ベルトが緩んだ状態で使用してはいけません。交通事故や急制動の際にお子さまに過剰な衝撃が加わったり、お子さまが本製品から飛び出したり、本製品が自動車座席から外れるおそれがあります。また、これらのベルト類がゆるんでいると、お子さまの首に絡むなどして、重大な事故につながるおそれがあります。ベルト類は、本取扱説明書の指示に従い、正しくお使いください。



警告

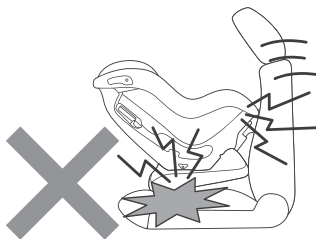
本製品の分解、改造をしないこと、および指定外部品を使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の分解、改造をしてはいけません。また、指定外の部品への交換、本製品に同梱されていないアクセサリや部品を本製品に取り付けて使用しないでください。



本製品に過度の負担を掛けないこと

本製品に損傷を与えるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、自動車のドアや自動車座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品が損傷した場合、本製品を使用してはいけません。また、過度の負担が掛かると、本製品の取り付けがゆるんでしまう可能性もあります。



シートカバー類などの部品を取り外して使用しないこと

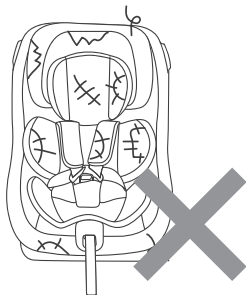
本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外して使用しないでください。シートカバーや、ウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に、本体に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。

⚠ 警告

中古品や劣化した本製品を使用しないこと

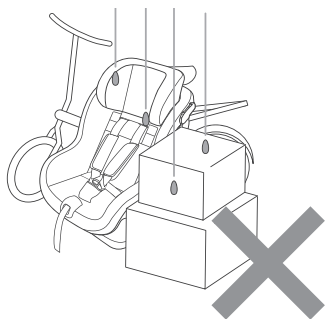
中古品は、過去の履歴や保管状況、使用状況が不明なため、使用してはいけません。また、部品の経年劣化の影響などにより、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、購入日から6年を経過した本製品は使用しないでください。

安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。



不適切な保管をしないこと

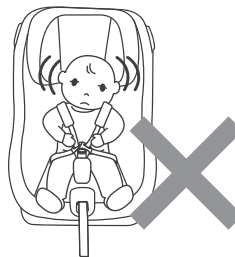
部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。



⚠ 警告

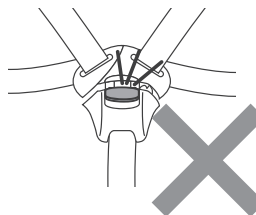
ソフトパッドを正しく使うこと

お子さまを正しく固定するため、ソフトパッドは使用期間を守り、正しく使用してください。



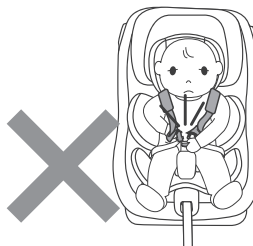
バックルや乳幼児ベルトに異常が生じた場合、本製品を使用しないこと

バックルが正しく留まらない、乳幼児ベルトに損傷がある、乳幼児ベルトを締め付けることができない、など、バックルや乳幼児ベルトに異常が生じた場合は、ただちに本製品の使用を中止してください。



バックルが正しく留まっているか適宜確認すること

お子さまがバックルボタンに触れると、バックルが外れるおそれがあります。お子さまにはバックルに触れないように言い聞かせ、適宜、バックルが正しく留まっていることを確認してください。

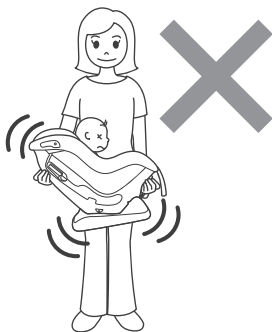


はじめにご確認ください

警告

お子さまを乗せたまま、本製品を持ち上げないこと

お子さまが本製品から落下したり、本製品が落下するなどして思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえ乳幼児ベルトで正しく固定されていたとしても、お子さまを乗せたまま本製品を持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。



本来の目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、条件に適合した自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです。電車やバス、飛行機内で使用したり、通常の椅子として使用したり、買い物カートに載せて使用するなど、本来の目的外では使用しないでください。



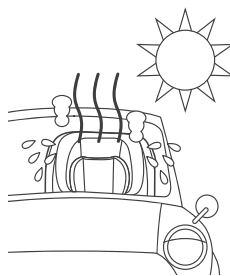
注意

注意

以下に記載されている事項を守らないと、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

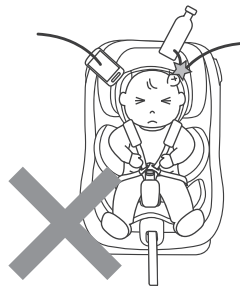
部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したり本製品に覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



車内にある動くものは固定しておくこと

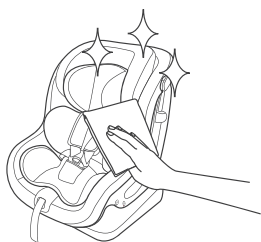
急制動などの際に、本製品を使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。



⚠ 注意

適切な方法でお手入れすること

本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、バックルや、差込タンク、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。



⚠ 注意

長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまを本製品から降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。

また、運転の安全のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

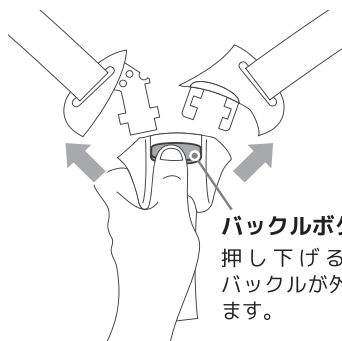
本書は取扱説明書ホルダーに保管すること

必要なときにいつでも参照できるように、本書は、本体背面にある取扱説明書ホルダーに保管しておいてください。

はじめにご確認ください

緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてず、本製品のバックルボタンを押し下げて、乳幼児ベルトを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。この際に、乳幼児ベルトや自動車の座席シートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は、本製品を固定している自動車の座席シートベルトを外して本体ごと自動車外に脱出させるか、または、市販のシートベルトカッターなどを使用して乳幼児ベルトを切断し、お子さまを車外に脱出させてください。



バックルボタン
押し下げると
バックルが外れます。

自動車の座席への影響について

本製品は、お子さまを保護するため、自動車の座席に強くシッカリと取り付けられる必要があり、これにより自動車の座席にへこみや痕、表皮に傷が付く場合があります。本製品を正しくご使用いただいた結果、自動車の座席にこれらの損傷が生じる可能性があることをあらかじめご了承ください。当社は、この損傷に関しての損害賠償の責を負わないものとさせていただきます。

⚠ 警告

本製品が正しく固定できず、衝撃により本製品が滑るなどして重大な事故につながるおそれがありますので、自動車の座席の保護を目的に、本製品の下に座布団やクッションなどを敷かないでください。

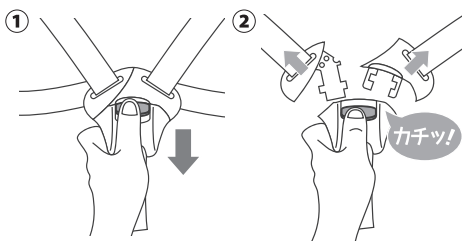
使いかた

使いかた
バックル

ーバックルの使いかた

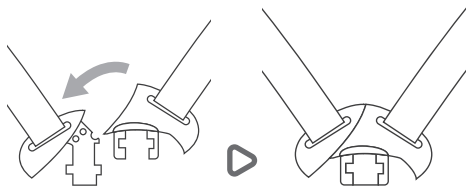
▶バックルの外しかた

- 01** バックルを外すには、①バックルボタンを押し下げます。②「カチッ」と音がして、差込タンクが外れます。

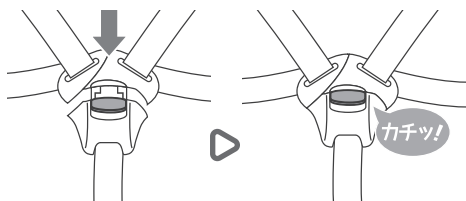


▶バックルの留めかた

- 01** 左の差込タンクの上に右の差込タンクを重ねます。肩ベルトをねじらないようにしてください。



- 02** そのまま、差込タンクを、受けバックルに差し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込みます。



- 03** 軽く肩ベルトを引いて、しっかりとバックルが留まっていることを確認してください。

⚠危険

バックルは正しく留めること

バックルが正しく留っていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合は、ただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

⚠注意

バックルを清潔に保つこと

バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう、お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

ーヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

本製品では、ヘッドレストと肩ベルトの高さ調節は連動しています。ヘッドレストの高さを調節すると、自動的に肩ベルトの高さも調節されます。お子さまの成長に合わせて、ヘッドレストと肩ベルトの高さを適切に調節してください。

- 01** ヘッドレストアジャストレバーを握りながらヘッドレストを上下にスライドさせて、ヘッドレストの高さを調節します。適当な高さで握った手を放して軽く上下に動かすと「カチッ」と音がしてヘッドレストが固定されます。ヘッドレストの高さは6段階で調節できます。

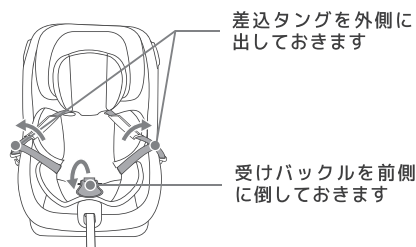


02 後ろ向き取り付けの場合には、P25「－後ろ向き取り付け ソフトパッド：使用可能な組み合わせ」を参照して、ソフトパッドを取り付け、または取り外してください。

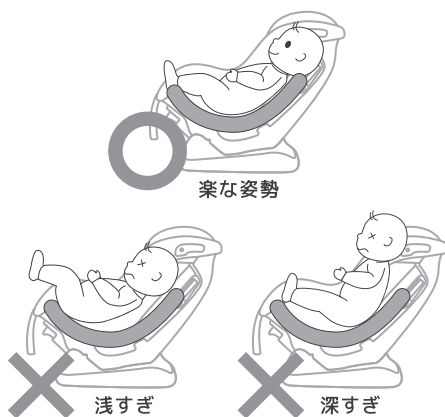
03 本製品を自動車座席に取り付ける前に、実際にお子さまを座らせてヘッドレスト（肩ベルト）の高さを適切に調節します。

あらかじめバックルを外し、下図のようにしておきます。

乳幼児ベルトが短くて、差込タングを外に出しにくい場合には、P24「－肩ベルトの長さ調節」を参照して、乳幼児ベルトを引き出しておくと操作がしやすくなります。



04 お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせます。お子さまの股が、股ベルトの根元あたりにくるようにしてください。



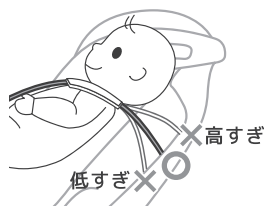
ポイント！

実際に本製品をご使用いただく際も同様に楽な姿勢で乗せるようにしてください。

05 ヘッドレストアジャストレバーを使用して、肩ベルトの高さを調節します。片手でお子さまの頭部を支えて、やさしく、ゆっくりと調節します。本製品の取り付けの向きが、後ろ向き取り付け時と、前向き取り付け時では、適切な肩ベルトの高さが異なりますので、ご注意ください。

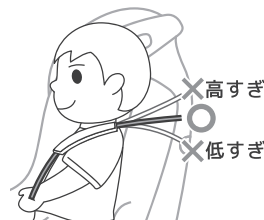
▶ 後ろ向き取り付け時の適切な高さ

後ろ向き取付時には、お子さまの肩の位置よりも低く、かつ最もお子さまの肩の位置に近い高さの、肩ベルトの取り出し穴の位置を覚えておきます。



▶ 前向き取り付け時の適切な高さ

前向き取付時には、お子さまの肩の位置よりも高く、かつ最もお子さまの肩の位置に近い高さの、肩ベルトの取り出し穴の位置を覚えておきます。



⚠ 危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは、必ず、適切な高さに調整してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどとして、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

やさしく、ゆっくりと操作すること

肩ベルトの高さ調節は、お子さまの頭部に負担がかからないよう、やさしく、ゆっくりと操作してください。

ーソフトパッドの使いかた

ソフトパッドは、ソフトパッド（頭部）とソフトパッド（座部）に分かれており、後ろ向き取り付け時にのみ使用します。体重 9kg 未満のお子さまは、ソフトパッド（頭部）とソフトパッド（座部）の両方を必ずご使用ください。お子さまの体重が 9kg を超えたら、ソフトパッド（座部）の使用を中止してください。ソフトパッド（頭部）は、お子さまの成長に応じて、引き続きご使用いただけます。ソフトパッドはアクセサリではありませんので、必ず、正しくお使いください。

なお、前向き取り付け時には、ソフトパッドはいずれも使用できません。

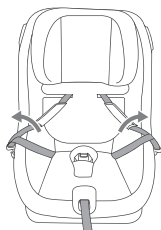
⚠ 危険

前向き取り付け時は使用しないこと

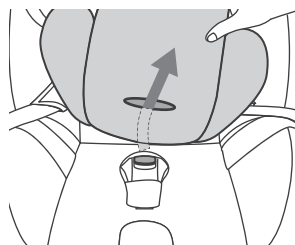
ソフトパッドは後ろ向き取り付け時のみ使用します。お子さまを正しく固定できませんので、前向き取り付け時には、いずれも使用しないでください。

▶ 取り付け / 取り外しかた

01 邪魔にならないように差込タングを外側にしておきます。乳幼児ベルトが短くて、差込タングを外に出しにくい場合には、P24「ー肩ベルトの長さ調節」を参照して、乳幼児ベルトを引き出しておくとお操作がしやすくなります。



02 受けバックル(股ベルトパッド)に、ソフトパッド（座部）の中央の切れ目を差し入れます。

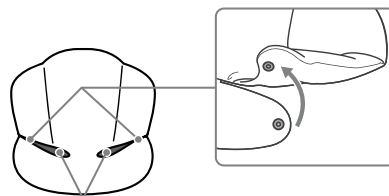


⚠ 注意

股ベルトをねじらないようにすること

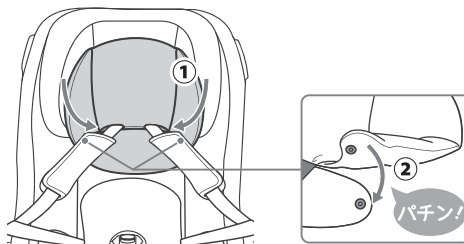
ソフトパッドの穴に差し入れる際、股ベルトパッドを取り付けなおす際に、股ベルトをねじらないように注意してください。

03 ソフトパッド（頭部）の肩ベルトスロットを留めているスナップボタンを左右とも外しておきます。



肩ベルトスロット

04 左右の肩ベルトスロットに、①肩ベルトを通し、②スナップボタンを左右ともしっかりと留めます。



05 ソフトパッドの取り外す場合は、逆の手順で取り外してください。

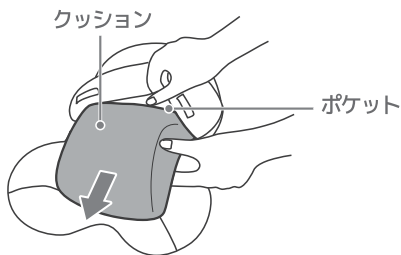
⚠ 注意

ソフトパッドを取り外した場合にはお子さまの手の届かないところで保管すること
お子さまがイタズラなどしないよう、取り外したソフトパッドは、お子さまの手の届かない場所で保管してください。

・クッションの取り外しかた

お手入れをする際には、ソフトパッド(座部)のクッションを取り外してください。

- 01** ソフトパッド(座部)裏側のポケット部のテープバンドを外し、クッションを抜き出します。クッションはぎつく入っていますので、ソフトパッドの生地を破かないよう、ゆっくりと抜き出してください。



👉 ポイント！

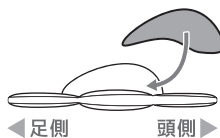
ソフトパッド(頭部)のクッション材は取り外せません。

⚠ 注意

無理に引き抜かないこと

クッションが引っかかった感じがする場合には、そのまま無理に引き出そうとしないでください。ソフトパッドの生地が破れる可能性があります。引っかかった感じがした場合には状態を確認して、ゆっくりと引き出すようにしてください。

- 02** クッションを戻す場合は、逆の手順で戻してください。クッションには向きがありますので、正しい向きで戻してください。



⚠ 危険

クッションを元に戻すこと

お手入れが終わったら、必ずクッションを元に戻してください。クッションを外した状態でソフトパッドを使用しないでください。

👉 ポイント！

ソフトパッドのお手入れ方法については、P39「ーシートのカバー類のお手入れ」をご参照ください。

使いかた／ソフトパッドの使いかた

一肩ベルトの長さ調節

肩ベルトの長さは、ベルトアジャスター、アジャスターベルトを使用して調節します。お子さまを正しく固定するため、お子さまの乗せ降ろしを容易にするため、また、ソフトパッドの着脱を容易にするため肩ベルトの長さを調節します。

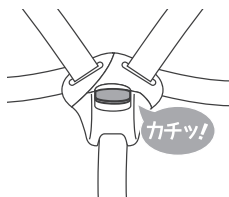
⚠ 危険

肩ベルトは適切な長さで調節すること

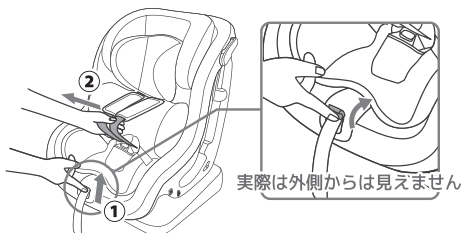
実際にお子さまを乗せ、本製品を使用する場合には、肩ベルトは本書の指示に従い適切な強さで締め付けるようにしてください。ゆるすぎたり、締め付けすぎると、本製品が安全に機能せず、重大な事故につながるおそれがあります。

▶ 肩ベルトを引き出す（ゆるめる）

01 あらかじめバックルを留めておきます。



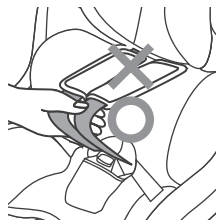
02 片手で左右の肩ベルトを束ねて持ち、①ベルトアジャスターを押し上げながら、②肩ベルトを手前に引くと、肩ベルトが引き出されます。この時、肩ベルトパッドを持たないでください。肩ベルトパッドは、本体に取り付けられていますので、肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトをゆるめることはできません。



👉 ポイント！

左右の肩ベルトを束ね、左右同時に引かないと肩ベルトをゆるめることができません。

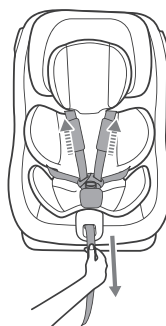
肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません。肩ベルトの部分を持って、引いてください。



▶ 肩ベルトを締め付ける

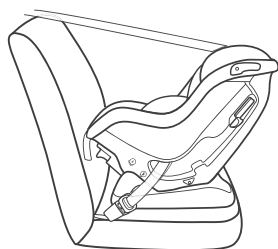
01 アジャスターベルトを手前に引くと、肩ベルトが締め付けられます（短くなります）。適切な締め付けかたは、後ろ向き取り付け時と前向き取り付け時で異なりますので、取り付けの向きに応じて正しく締め付けるようにしてください。

それぞれの正しい締め付けかたは、後ろ向き取り付け時はP28の「お子さまの乗せかた」を、前向き取り付け時はP35の「お子さまの乗せかた」を参照してください。



ー後ろ向き取り付け

体重 2.5kg から体重 18kg まで(目安年齢 4 歳頃まで)のお子さまにご使用いただけます。本製品を自動車の進行方向に対して後ろ向きに本製品を取り付けて使用します。体重 9kg 以上のお子さまに限り、お子さまが成長し、後ろ向き取り付けではお子さまの姿勢が窮屈になった場合、本製品を前向きに取り付けて使用することができます。



使用可能な範囲： 体重 2.5kg から 18kg まで

ソフトパッド： 使用可能な組み合わせ

	体重 9kg 未満	体重 9kg 以上
 頭部＋座部	○	×
 頭部のみ	×	○
 座部のみ	×	×
 ソフトパッドなし	×	○

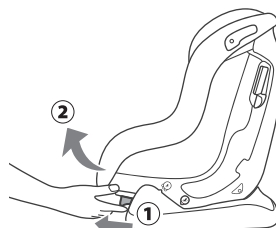
体重 9kg 以上のお子さまの場合、お子さまの成長（頭部サイズ）に応じて、ソフトパッド（頭部）をご使用ください。前向き取り付け時は、体重に関わらず、いずれのソフトパッドも使用できません。

リクライニング： 青色のマークの位置のみ

・リクライニングの調節

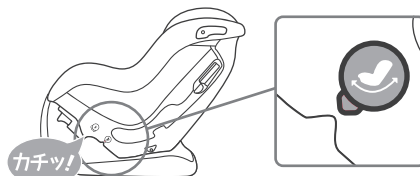
後ろ向き取り付け時は、リクライニングを青色のマークの位置に調節します。それ以外の位置では使用しないでください。

- 01** リクライニングインジケーターが青色のマーク以外を指している場合は、リクライニングを調節します。①リクライニングレバーを引きながら、②手前方向に最後まで引き上げます。



- 02** 「カチッ」と音がして固定され、リクライニングインジケーターが青色のマークを指していることを確認します。

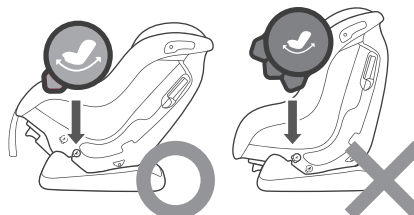
軽く、前後に動かしてリクライニングが固定されていることを確認してください。



⚠ 危険

リクライニングは正しく調節すること

後ろ向き取り付け時は、リクライニングを青マークの位置で調節してください。その他の角度で後ろ向きに取り付けると、本製品が正しく取り付けられず、事故や衝撃を受けた場合に重大な事故につながるおそれがあるのみならず、通常使用時においても、お子さまの首が傾き、窒息するなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



後ろ向き取り付け／リクライニングの調節

▶ 自動車座席への取り付け

お子さまを乗せたまま、本製品の取り付け、取り外しをしないでください。

⚠ 警告

お子さまを乗せたまま、本製品を持ち上げないこと

お子さまが本製品から落下したり、本製品が落下するなどして思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえ乳幼児ベルトで正しく固定されていたとしても、お子さまを乗せたまま本製品を持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。

👉 ポイント！

あらかじめ、以下の点を確認してください。

- ・ソフトパッド：お子さまの体重に応じる
- ・リクライニングの角度：青色のマークの位置

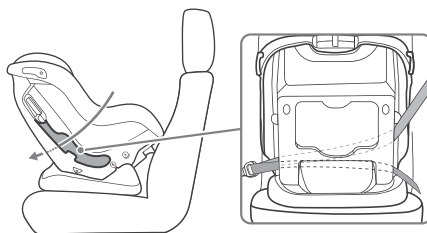
- 01** 本製品を取り付ける自動車座席に、本製品を後ろ向きにして置きます。
本製品の底面（ベースの底面）全体がシート座面に、前端がシート背もたれに、それぞれ接するようにしてください。



👉 ポイント！

以下は、右ハンドル車の助手席後ろの後部座席（向かって右側に自動車肩ベルトの取り出し口、左側に自動車ベルトタングがある）の場合の説明です。

- 02** 座席シートベルトを、ねじらないように注意しながら引き出して、シェル側面の空間の反対側まで通します。



- 03** 自動車ベルトタングを、自動車バックルに差し入れ、カチッと音がするように留めます。



⚠ 警告

座席シートベルトをねじらないこと

座席シートベルトはねじらないようにしてください。ねじれがあると、衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。

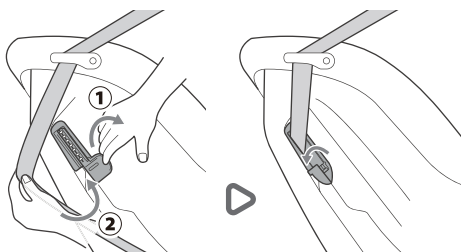
👉 ポイント！

作業中に、座席シートベルトの固定機能が働いてしまうと、それ以降の作業ができなくなります。作業途中で、固定機能が働いてしまった場合には、お車の取扱説明書を参照し、固定機能を解除してから作業を続けてください。

- 04** 青色の後ろ向きベルトスロットに自動車肩ベルトを差し入れます。奥までしっかりと差し入れてください。



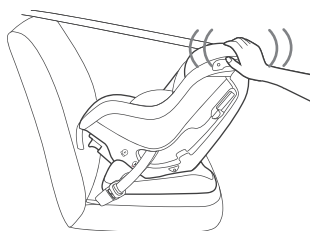
- 05** ①ロックオフデバイスを開き、②自動車肩ベルトを差し入れます。奥までしっかりと差し入れたら、ロックオフデバイスを開いている手を放し、ロックオフデバイス閉じます。



- 06** 自動車肩ベルトを強く締めつめます。本製品を、シート座面に強く押し付けながら、自動車肩ベルトの取り出し口の方に強く引いてください。



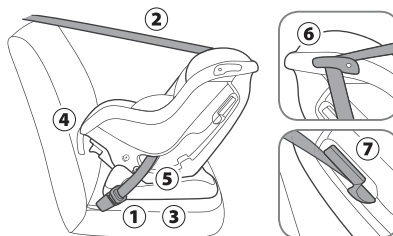
- 07** 本製品の上部を手で前後左右に軽く動かしてみます。3cm以上ベースが動く場合、取り付けがゆるい状態ですので、もう一度取り付けなおしてください。



- 08** 最後にチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば、もう一度取り付けなおしてください。

チェックリスト

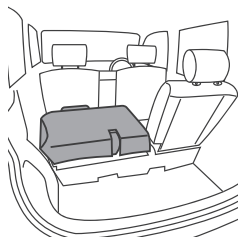
- ① 自動車ベルトバックルがしっかり留まっていること
- ② 座席シートベルトにねじれがないこと
- ③ ベースの底面全体がシート座面に接していること
- ④ シェルの先端がシート背もたれに接していること
- ⑤ リクライニングが青色のマークの位置で調節されていること
- ⑥ 青色の後ろ向きベルトスロットに自動車肩ベルトが正しく通っていること
- ⑦ ロックオフデバイスに、自動車肩ベルトが正しく通り、ロックオフデバイスが閉じられていること



⚠ 危険

可倒式の自動車座席の背もたれは確実に固定すること

シート背もたれが可倒式（トランクを広く、また、長いものを収納できるようにするため、シート背もたれを前方に倒せる）の場合、シート背もたれを確実に固定してください。シート背もたれが固定されていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が自動車座席から外れるおそれがあります。



⚠ 警告

自動車座席のリクライニングを操作しないこと

本製品の取り付けがゆるむおそれがありますので、本製品を取り付けた後で、自動車座席のリクライニングを操作しないでください。

自動車座席を後ろにスライドさせないこと

車種によっては、自動車座席を前後にスライドさせることができる場合があります。本製品の取り付けがゆるむおそれがありますので、本製品を取り付けた後で、自動車座席を後ろ方向にスライドさせないでください。

09 自動車座席から取り外す場合は、逆の手順で取り外してください。

・お子さまの乗せかた

あらかじめ、P20「ーヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節」を参照し、肩ベルトの高さをお子さまの体格に合わせ、適切に調節しておいてください。

01 P24「・肩ベルトを引き出す（ゆるめる）」を参照し、肩ベルトをゆるめておきます。

👉 ポイント！

肩ベルトが短すぎると、キツくなりすぎてお子さまをバックルで留めることができません。お子さまの身体を圧迫しないよう、肩ベルトをあらかじめ引き出しておきます。

02 お子さまを楽な姿勢で乗せ、股ベルトを両足の間にに入れて、両腕を肩ベルトの間に通します。腰ベルトをお子さまの骨盤の位置に通るようにして、ベルト類にねじれがないことを確認して、カチッと音がするようにバックルを留めます。



👉 ポイント！

お子さまの正しい乗せかた（楽な姿勢での乗せかた）は、P20「ーヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節」を参照してください。

受けバックルに異物が入らないよう、お子さまを乗せていない場合でも、バックルは留めておくようにしてください。

⚠ 危険

バックルに異常がある場合は使用しないこと
「カチッ」と音がしない、など、バックルに異常が認められる場合は、本製品を使用しないでください。

⚠ 警告

腰ベルトは、お子さまの骨盤の位置を通るようにすること

衝撃を骨盤で受けられるよう、腰ベルトは、必ずお子様の骨盤の位置を通るようにしてください。腹部や、太もも部に腰ベルトが通っていると、衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 警告

乳幼児ベルトをねじらないこと

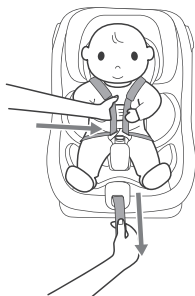
バックルを留める前に、乳幼児ベルトにねじれないことを確認してください。乳幼児ベルトにねじれがあると、事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

- 03 乳幼児ベルトの腰ベルトがお子さまの骨盤の上に乗るようにしてください。



(肩ベルトの締めつけかた)

- 04 肩ベルトとお子さまの間に、片手の掌を差し込んで、別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引っ張り、ベルトを締めつけていきます。差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで、アジャスターベルトを締めつけてください。



👉 ポイント！

締め付けすぎた場合には、P24「肩ベルトの長さ調節」を参照して、肩ベルトを引き出し、ゆるめてください。

⚠ 危険

アジャスターベルトは慎重にゆっくりと操作すること

肩ベルトが強く締めすぎるとおそれがありますので、アジャスターベルトを、勢いよく引っ張らないでください。

強く肩ベルトが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまを正しく保護することができません。必ず、大人の片手の掌が差し込める程度に締めつけるようにしてください。

- 05 最後に、もう一度、バックルが正しく留まっているか、肩ベルト、股ベルトに、ゆるみやねじれないか確認してください。

▶ お子さまの降ろしかた

- 01 バックルを外して、お子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

⚠ 警告

お子さまを勢いよく降ろさないこと

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。肩ベルトに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

お子さまにバックルを触らせないこと

お子さまがバックルボタンに触れると、バックルが外れるおそれがあります。お子さまにはバックルに触れないように言い聞かせ、乗せ降ろしは大人のかたが行うようにしてください。

後ろ向き取り付け／肩ベルトの締めつけかた

ポイント！

お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろしするたびに、肩ベルトの高さが適切かどうか、確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

・ソフトパッドの使用

01 体重 9kg 未満のお子さまは、必ず、ソフトパッド（頭部）とソフトパッド（座部）の両方を取り付けて使用してください。

体重 9kg 以上のお子さまは、必ず、ソフトパッド（座部）を取り外して使用してください。ソフトパッド（頭部）は、体重 9kg 以上のお子さまも、引き続きご使用いただけますが、お子さまの成長により、頭部が窮屈になったら、取り外して使用してください。前向き取り付けの場合は、体重に関わりなく、いずれのソフトパッドも取り外して使用します。

ソフトパッドの使用期間については、P25「－後ろ向き取り付け ソフトパッド：使用可能な組み合わせ」を参照してください。

⚠ 危険

ソフトパッドを正しく使用すること

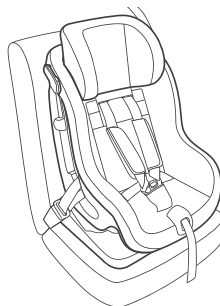
ソフトパッドは、アクセサリではなく、重要な機能部品です。以下の条件の場合は、ソフトパッド（頭部）とソフトパッド（座部）の両方を、必ず取り付け使用してください。

- ・後ろ向き取り付け
- ・お子さまの体重 9kg 未満の場合

体重 9kg 以上の子さまは、ソフトパッド（座部）は使用できませんので、取り外して使用してください。

－前向き取り付け

体重 9kg 以上（目安年齢 1 歳頃から）のお子さまは、本製品を自動車の進行方向に対して前向きに本製品を取り付けて使用します。体重 18kg（目安年齢 4 歳頃）まで、ご使用いただけます。



使用可能な範囲	： 体重 9kg から 18kg まで
ソフトパッド	： いずれも使用できません
リクライニング	： 赤色のマーク 3 か所のいずれかの位置

⚠ 危険

使用可能な範囲を守ること

前向き取り付け時は、体重 9kg から 18kg までのお子さまがご使用いただけます。目安の年齢の範囲内でも、体重 9kg 未満の場合は、後ろ向き取り付けで使用し、体重 18kg を超えた場合は、本製品の使用を中止してください。

・ソフトパッドの取り外し

前向き取り付け時は、ソフトパッドはいずれも使用できません。あらかじめ取り外しておきます。（P22「－ソフトパッドの使いかた」参照）

⚠ 注意

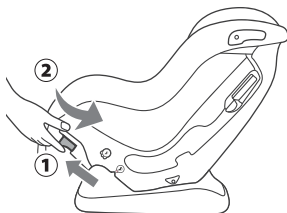
ソフトパッドはお子さまの手の届かないところで保管すること

取り外したソフトパッドは、お子さまの手の届かないところで保管してください。

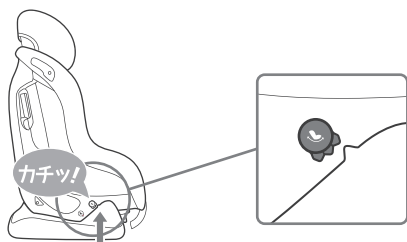
▶ リクライニングを立てる

前向き取り付け時は、リクライニングを3段階で調節することができます。赤色のマーク3か所のいずれかの位置で調節します。青色のマークの位置では使用できません。

- 01** リクライニングインジケーターが青色のマークの位置を指している場合は、リクライニングを調節します。①リクライニングレバーを引きながら、②奥の方向に押し込みます。



- 02** そのまま、一番奥まで押し込み、「カチッ」と音がして、リクライニングインジケーターが、一番手前の赤色のマークを指していることを確認します。最もリクライニングが立った状態になります。
軽く、前後に動かしてリクライニングが固定されていることを確認してください。



ポイント！

本製品を自動車座席に取り付ける際は、リクライニングを、一番立った状態（リクライニングインジケーターが、一番手前の赤色のマークの位置）に調節します。

注意

リクライニングを立てて取り付けること

取り付けるお車の座席の形状にもよりますが、本製品を自動車座席に取り付け後、本製品のリクライニングを、立てる方向に調節すると、本製品の取り付けが若干ゆるくなることがあります。取り付け時には、リクライニングは立てて（一番手前の赤い●印の位置）おいてください。

▶ 自動車座席への取り付け

お子さまを乗せたまま、本製品の取り付け、取り外しをしないでください。

警告

お子さまを乗せたまま、本製品を持ち上げないこと

お子さまが本製品から落下したり、本製品が落下するなどして思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえ乳幼児ベルトで正しく固定されていたとしても、お子さまを乗せたまま本製品を持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。

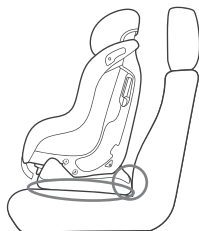
ポイント！

あらかじめ、以下の点を確認してください。

- ・ ソフトパッドの取り外し
- ・ リクライニングの角度：
手前の赤色のマークの位置
※リクライニングが最も立った状態

- 01** 本製品を取り付ける自動車座席に、本製品を前向きにして置きます。

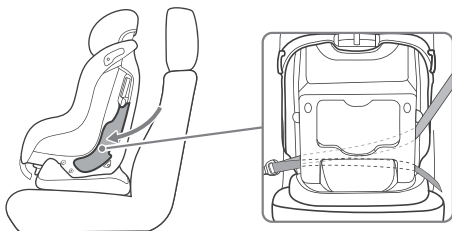
本製品の底面（ベースの底面）全体がシート座面に、後部がシート背もたれに、それぞれ接するようにしてください。



ポイント！

以下は、右ハンドル車の助手席後ろの後部座席（向かって右側に自動車肩ベルトの取り出し口、左側に自動車ベルトタングがある）の場合の説明です。

- 02** 座席シートベルトを、ねじらないように注意しながら引き出して、シェル側面の空間の反対側まで通します。



- 03** 自動車ベルトタングを、自動車バックルに差し入れ、カチッと音がするように留めます。



警告

座席シートベルトをねじらないこと

座席シートベルトはねじらないようにしてください。ねじれがあると、衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。

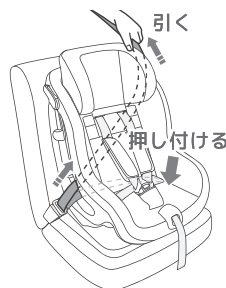
ポイント！

作業中に、座席シートベルトの固定機能が働いてしまうと、それ以降の作業ができなくなります。作業途中で、固定機能が働いてしまった場合には、お車の取扱説明書を参照し、固定機能を解除してから作業を続けてください。

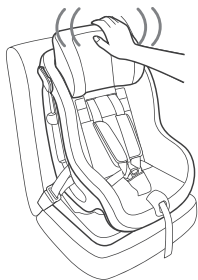
- 04** ①ロックオフデバイスを開き、②自動車肩ベルトを差し入れます。奥までしっかりと差し入れたら、ロックオフデバイスを開いている手を放し、ロックオフデバイス閉じます。



- 05** 自動車肩ベルトを強く締めつめます。本製品を、シート座面に強く押し付けながら、自動車肩ベルトの取り出し口の方に強く引いてください。



- 06 本製品の上部を手で前後左右に軽く動かしてみます。3cm以上ベースが動く場合、取り付けがゆるい状態ですので、もう一度取り付けなおしてください。



ポイント！

本製品のヘッドレストが、自動車座席のヘッドレストに干渉する場合、自動車座席のヘッドレストを取り外してください。

注意

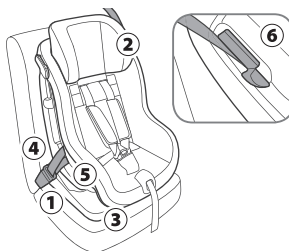
自動車座席のヘッドレストを取り外した場合は安全な場所に保管すること

自動車座席のヘッドレストを取り外した場合は、車内にそのまま放置せず、トランクの中など、安全な場所に保管しておいてください。自動車座席のヘッドレストを適切に固定せず、車内にそのまま放置していると、事故や衝撃を受けた際に移動し、乗員にあたるなどしてケガをするおそれがあります。

- 07 最後にチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば、もう一度取り付けなおしてください。

チェックリスト

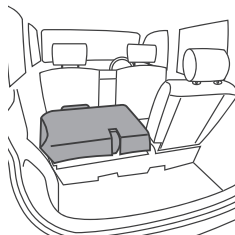
- ① 自動車ベルトバックルがしっかり留まっていること
- ② 座席シートベルトにねじれがないこと
- ③ ベースの底面全体がシート座面に接していること
- ④ 本製品の後部がシート背もたれに接していること
- ⑤ リクライニングが一番手前の赤色のマーク位置で調節されていること
- ⑥ ロックオフデバイスに、自動車肩ベルトが正しく通り、ロックオフデバイスが閉じられていること



危険

可倒式の自動車座席の背もたれは確実に固定すること

シート背もたれが可倒式（トランクを広く、また、長いものを収納できるようにするため、シート背もたれを前方に倒せる）の場合、シート背もたれを確実に固定してください。シート背もたれが固定されていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が自動車座席から外れるおそれがあります。



前向き取り付け／自動車座席への取り付け

警告

自動車座席のリクライニングを操作しないこと

本製品の取り付けがゆるむおそれがありますので、本製品を取り付けた後で、自動車座席のリクライニングを操作しないでください。

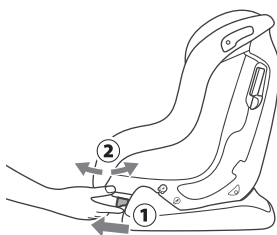
自動車座席を後ろにスライドさせないこと

車種によっては、自動車座席を前後にスライドさせることができる場合があります。本製品の取り付けがゆるむおそれがありますので、本製品を取り付けた後で、自動車座席を後ろ方向にスライドさせないでください。

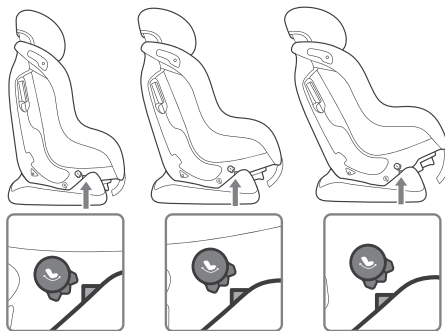
- 08 自動車座席から取り外す場合は、逆の手順で取り外してください。

・リクライニングを調節する

- 01 ①リクライニングレバーを引きながら、②前後に動かし、リクライニングを調節します。



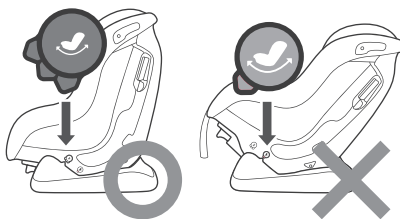
- 02 前向き取り付け時は、リクライニングを3段階で調節することができます。赤色のマークの3か所のいずれかの位置で調節します。お子さまが快適になるよう、調節してください。



危険

リクライニングは正しく調節すること

前向き取り付け時は、リクライニングを赤印のマークのいずれかの位置で調節してください。青色のマークの位置では、本製品が正しく取り付けられず、事故や衝撃を受けた場合に重大な事故につながるおそれがあります。青色のマークの位置は、後ろ向き取り付け時のみ使用可能です。



・お子さまの乗せかた

あらかじめ、P20「ーヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節」を参照し、肩ベルトの高さをお子さまの体格に合わせ、適切に調節しておいてください。

- 01** P24「・肩ベルトを引き出す（ゆるめる）」を参照し、肩ベルトをゆるめておきます。

ポイント！

肩ベルトが短すぎると、キツくなりすぎてお子さまをバックルで留めることができません。お子さまの身体を圧迫しないよう、肩ベルトをあらかじめ引き出しておきます。

- 02** お子さまを楽な姿勢で乗せ、股ベルトを両足の間にに入れて、両腕を肩ベルトの間に通し、ベルト類にねじれがないことを確認して、カチッと音がするようにバックルを留めます。



ポイント！

お子さまの正しい乗せかた（楽な姿勢での乗せかた）は、P20「ーヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節」を参照してください。

受けバックルに異物が入らないよう、お子さまを乗せていない場合でも、バックルは留めておくようにしてください。

危険

バックルに異常がある場合は使用しないこと
「カチッ」と音がしない、など、バックルに異常が認められる場合は、本製品を使用しないでください。

警告

乳幼児ベルトをねじらないこと

バックルを留める前に、乳幼児ベルトにねじれがないことを確認してください。乳幼児ベルトにねじれがあると、事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

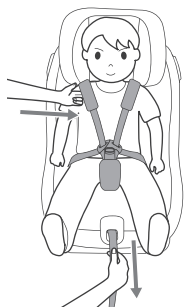
- 03** 乳幼児ベルトの腰ベルトがお子さまの骨盤の上に乗るようにしてください。



前向き取り付け／お子さまの乗せかた

(肩ベルトの締めつけかた)

- 04** 肩ベルトパッドとお子さまの胸部の間に、片手の指を二本差し込んで、別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引っ張り、ベルトを締めつけていきます。差し込んだ指が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで、アジャスターベルトを締めつけてください。大人の指が二本差し入れられる程度の締め付けが最適です。



⚠ 危険

アジャスターベルトは慎重にゆっくりと操作すること

肩ベルトが強くと締めすぎるとおそれがありますので、アジャスターベルトを、勢いよく引っ張らないでください。

強く肩ベルトが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまを正しく保護することができません。必ず、大人の肩の指が2本差し込める程度に締めつけるようにしてください。

👉 ポイント！

締め付けすぎた場合には、P24「肩ベルトの長さ調節」を参照して、肩ベルトを引き出し、ゆるめてください。

- 05** 最後に、もう一度、バックルが正しく留っているか、肩ベルト、股ベルトに、ゆるみやねじれがないか確認してください。

▶ お子さまの降ろしかた

- 01** バックルを外して、お子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

⚠ 警告

お子さまを勢いよく降ろさないこと

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。肩ベルトに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろす（または降りるように言い聞かせる）ようにしてください。

お子さまにバックルを触らせないこと

お子さまがバックルボタンに触れると、バックルが外れるおそれがあります。お子さまには、むやみにバックルに触れないように言い聞かせてください。

👉 ポイント！

お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろしするたびに、肩ベルトの高さが適切かどうか、確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

お手入れのしかた

ーシートのカバー類の取り外しかた
本製品では、お手入れのため、シートのカバー、パッド類を取り外すことができます。

⚠ 警告

シートカバー類などの部品を取り外して使用しないこと

製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外して使用しないでください。シートカバーや、ウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に、本体に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。

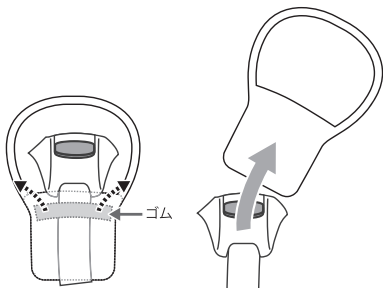
- 01** P22「ーソフトパッドの使いかた」を参照して、あらかじめ、ソフトパッドを取り外しておきます。

⚠ 注意

ソフトパッドはお子さまの手の届かないところで保管すること

お子さまがイタズラなどしないよう、取り外したソフトパッドは、お子さまの手の届かない場所で保管してください。

- 02** 股ベルトパッドを股ベルトから取り外します。股ベルトパッドは内側のゴムで股ベルトに固定されています。ゴムを引いてゆるめ、バックルから外して、股ベルトパッドを抜き取ってください。

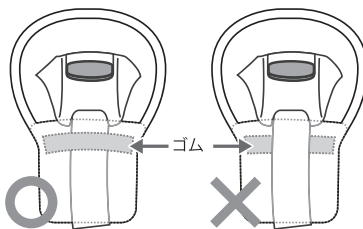


⚠ 注意

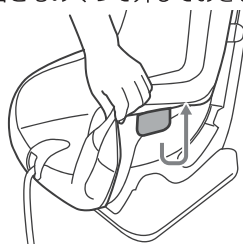
股ベルトパッドを正しく取り付けること

股ベルトパッドを取り付ける際には、股ベルトパッド内側のゴムで股ベルトを固定してください。

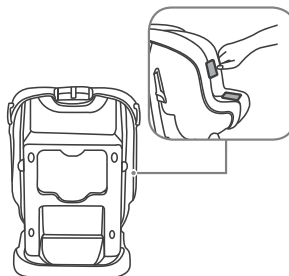
固定されていないと、使用中に股ベルトパッドが抜け落ちるおそれがあります。



- 03** シェル前側、座面部分の左右にある、シートカバーを留めているプラスチックのプレートを、左右ともめくって外しておきます。



- 04** 同様に、シェルの背もたれ部分で、シートカバーを留めているプラスチックのプレートを左右ともめくって外します。

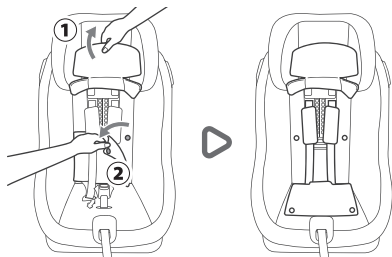


👉 ポイント！

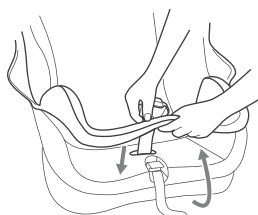
合計4か所のプラスチックプレートを取り外します。ここでは、プラスチックプレートを取り外すだけの作業をします。まだシートカバーは取り外しできません。

05 P20「ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節」を参照して、ヘッドレストを最も高い位置に調節します。

06 ①ヘッドレストの下側をめくりあげ、②背もたれ部分のシートカバー左右のスナップボタンを外して前側に倒します。



07 受けバックルをシートカバーの穴から抜き、シェルの前側からシートカバーをゆっくりとめくり上げていきます。



ポイント！

ベルトアジャスター部分は、ベルトアジャスターの外側の溝からシートカバーの縁を取り外します。シートカバーを取り付ける際には、溝にシートカバーの縁を押し込んでいくようにしてください。

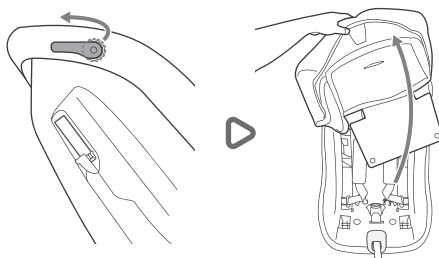


⚠️ 注意

シートカバーを無理に取り外さないこと

シートカバーが破損するおそれがありますので、引かなかった感じがした場合には、無理に外そうとせず、受けバックルが完全に抜けているか、乳幼児ベルトが引っかかっていないか、シートカバーのプラスチックのプレートが外れているかどうかを確認してください。

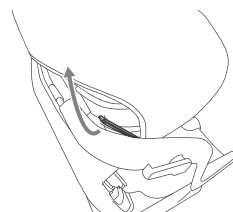
08 シートカバーを上方向にめくり上げ、左右の後ろ向きベルトスロットからシートカバーを抜き、シェルから抜き取ります。この際、ヘッドレスト部分にシートカバーを引っ掛けないように注意してください。



ポイント！

シートカバーを取り付ける際、先に左右の後ろ向きベルトスロットにシートカバーの穴を通す事を忘れないでください。シートカバーを完全に被せてしまった後からでは、シートカバーの穴に通すことができません。

09 ヘッドレストのカバーを取り外すため、ヘッドレストの後ろ側のフックに留めてある左右のゴムを取り外します。



👉 ポイント！

ヘッドレストを最も高い位置で調節していないと、ゴムの取り外しができません。

⚠ 注意

手を挟まないよう注意すること

手を入れる空間が狭くなっていますので、ヘッドレストのフックからゴムを取り外す際、手を挟んでケガをしないよう注意して作業してください。

- 10 ヘッドレストのカバーをヘッドレストから取り外します。ヘッドレストのカバーはきつめに被せられていますので、ゆっくりと慎重に取り外してください。



⚠ 注意

ヘッドレストの衝撃吸収材(発砲フォーム)を傷つけないようにすること

ヘッドレストには、衝撃吸収材が取り付けられています。ヘッドレストのカバーを取り外す際に、衝撃吸収材を破損しないよう注意して作業してください。

衝撃吸収材(発砲フォーム)を取り外さないこと

ヘッドレストの衝撃吸収材は、取り外しできません。無理に取り外そうとしないでください。

- 11 カバー類の取り付けは、逆の手順で行います。

ーシートのカバー類のお手入れ

- 01 ソフトパッド(座部)は、そのままでは洗えませんので、クッションを取り外してから、お手入れしてください。クッションの取り外し方は、P23「▶クッションの取り外しかた」を参照してください。

⚠ 注意

クッションを洗濯しないこと

型崩れ、破損の原因となりますので、クッションは洗濯しないでください。

- 02 以下の表示に従って、シートカバー、ヘッドレストのカバー、ソフトパッド(頭部)、ソフトパッド(座部)のカバーをお手入れします。

- ・ 30℃以下で水洗いしてください
軽く絞って、形を整え、陰干してください。
- ・ アイロンは使用できません
- ・ タンブラー乾燥はしないでください
破損、縮みの原因となります。
- ・ ドライクリーニングはできません
- ・ 有機溶剤を使用しないでください
ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。
- ・ 漂白剤は使用できません
劣化を早め、変退色の原因となります。
- ・ きつく絞らないでください
型崩れ、変形の原因となります。

⚠ 注意

指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法でシートカバー、ヘッドレストのカバー、ソフトパッド(頭部)、ソフトパッド(座部)のカバーを洗うと、破損、破れ、型崩れしたり、縮んだりするおそれがあります。

お手入れのしかた

ーシェル・ベース・ベルト類のお手入れ

- 01** お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。
汚れがひどい場合には、お湯または水に薄めた中性洗剤を混ぜてお使いください。
洗剤を使用した場合は、汚れを落とした後、しっかりと洗剤を拭きとってください。
以下の表示に従って、お手入れします。

- ・ **研磨剤、有機溶剤は使用しないでください**
クレンザーなどの研磨剤の入った洗剤、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- ・ **水、お湯、洗剤を直接本製品にかけないでください**
- ・ **潤滑油、シリコンオイル等の油や潤滑剤は絶対に使用しないでください**

⚠ 危険

絶対に潤滑剤を使用しないこと

本製品の破損、変質のおそれがあるのみならず、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。いかなる場合でも、潤滑油、シリコンオイル等の油や、それに類する潤滑剤を使用してはいけません。

⚠ 注意

濡れたままカバー類を取り付けないこと

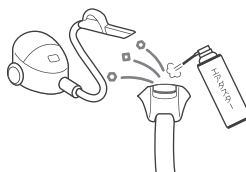
さび、かび、劣化の原因となりますので、カバー類は十分に乾かしてからシェルに取り付けてください。また、シェル、ベースを濡らしてしまった場合は、柔らかい布で水分をよくふき取り、十分に乾かしてからカバー類を取り付けてください。

ベルト類・ヘッドレストの衝撃吸収材（発砲フォーム）は取り外しできません

ベルト類・ヘッドレストの衝撃吸収材は、本体から取り外さずにお手入れしてください。

ー受けバックル・差込タングのお手入れ

- 01** 受けバックルの表面と差込タングは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。
- 02** 受けバックルの内側は、ご家庭の掃除機でゴミやほこりを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミ、ほこりを吹き飛ばすようにしてください。



⚠ 危険

絶対に洗剤類や潤滑剤を使用しないこと

バックルが正しく機能しなくなるおそれがありますので、差込タング、受けバックルのお手入れには、絶対に洗剤類や潤滑剤を使用しないでください。なにも混ぜていない水かお湯を使ってお手入れしてください。

バックルに異常がある場合は直ちに使用を中止すること

正しく差込タングを受けバックルに差してもカチッ！と音がしない、バックルリリースボタンが動かないなど、バックルに異常を発見した場合はただちに本製品の使用を中止して、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

⚠ 注意

バックルを清潔に保つこと

バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう、お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、本製品を自動車座席から取り外しておいてください。

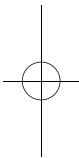
ほこりがバックル内に入らないよう、保管時もバックルは留めておくようにしてください。

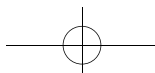
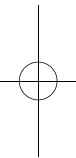
直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のあたる露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。
また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示シートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。





本製品に関するお問い合わせ先
株式会社カトージ お客様サービス
電話：0568-67-5701 平日 10~17 時（土日祝日を除く）
<http://www.katoji.co.jp/>

輸入販売元
株式会社カトージ
〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋 39-2

P-IM0098E

